



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、幸多き新春を迎えられた事と、お慶びを申し上げます。

▼昨年は、梅雨前線による豪雨、その後は太平洋高気圧の強まりによる猛暑に見舞われ、降水量と気温は、気象観測を始めて以来、最高に達する所が全国に現れるなど、記録づくめの天候となり、洪水や土砂災害等も全国各地で発生しました。▼また、我が国の経済情勢は足踏み状態となっており、失業率が高水

準にあるなど、厳しい状況にあります。▼七尾市・中能登町管内の有効求人倍率からみた状況では、平成 20 年 10 月以降下がり続け、平成 21 年 7 月には 0.45 倍となり、過去最低の水準を示しています。▼その後、緩やかな上昇をみせ、昨年 9 月には 0.7 倍にまで回復したものの依然として厳しい雇用情勢でございます。▼今年は経済雇用情勢が回復する事を強く期待したいと思います。

▼今後とも新しい社会の姿を地域から示される様、今年も初心忘れる事なく、襟を正して市民の皆様への負託に応えるべき全力で頑張ってお参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

▼皆様には引き続きご指導ご鞭撻、宜しくお願い申し上げます。

▼皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## ＝ 平成 22 年第 4 回定例会 (H22.12.02~12.16) ＝



▼市長提案理由説明では、円高等による景気下振れリスクが強まっている事から国は、「新成長戦略実現に向けた 3 段階構えの経済対策」を閣議決定し、ステップ 1 として、円高、デフレ状況に対する緊急的な対応とし、平成 22 年度経済危機対応・地域活性化予備費の使用により、七尾港の矢田新地区耐震強化岸壁の事業費が追加され、整備促進が図られる事となったと報告。▼ステップ 2 として、今後の動向

を踏まえた機動的な対応、ステップ 3 として、平成 23 年度の対応、新成長戦略の本格実施を政策展開し、デフレ脱却と景気の自律的回復に向けた道筋を確かなものへと示しました。

▼当市としても、さらに地域経済の活性化を図るため、現在、活気と魅力ある温泉街の形成に向けて積極的に「和倉温泉まちづくり事業」に取り組んでおり、今年度、温泉街の回遊拠点である観光交流施設の完成を目指しているとしました。▼また、和倉温泉多目的グラウンドについては、地域住民の散策の場として利用されつつあり、スポーツ合宿などの交流拠点としても、県内外から多くの利用をいただいていると報告。▼今後も積極的に活用し、和倉温泉や能登島などの市内への入り込み客数の増加を図ると共に、新たな施設として、当市の魅力である「海」を活かした親水空間を整備し、さらなる滞在型交流の拡大に取り組むとしました。▼また、隣接する県有地を取得し、一体的な散策路として連絡するものとし、平成 24 年度に開催予定の全国高等学校総合体育大会「ヨット競技」会場として施設整備に着手すると致しました。

▼今回の議会一般質問には 13 名の議員が立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行われ、活発な議論が交わされました。私は 9 日に議会質問いたしました。

今議会の概ねを皆様にご報告致します。



# 平成22年度・12月補正予算

(単位:千円)

	一般会計		特別会計	
	12月補正予算	12月補正後予算	12月補正予算	12月補正後予算
■平成22年度	550,896	31,125,282	122,571	17,346,299
■平成21年度	1,077,306	32,654,191	143,834	18,787,545
■平成20年度	309,555	28,166,820	264,127	20,523,127

I.産 業	(単位:千円)	事業費	担当課
和倉温泉まちづくり	リソホ-ツ(実施設計、地形測量、用地取得 A=17,381 m <sup>2</sup> )	212,000	産業振興課
七尾港改修事業負担金	矢田新耐震岸壁整備及び県単港湾改良事業	30,939	企 画 課
地域力創造パートナー	能登島地区農業活性化に向け「人材ネット」専門家の派遣	364	農林水産課
観光施設管理運営費	能登島交流市場周辺の機能拡充に向けた全体構想調査	2,542	観光交流課
観光振興総務事務費	日大観光サミット開催支援(観光団体、航空会社役員等)	550	〃

II.教 育			
小学校施設耐震化対策	耐震補強及び改修の実実施設計(北星、田鶴浜、旧涛南中)	9,616	子ども教育
中学校大規模改造事業	香島中学校施設整備及び改修 (第2体育館建設に係るプール解体工事)	22,229	〃

III.健康・福祉・医療			
感染症予防事業費	低所得者に対する新型インフルエンザワクチン接種費用軽減。 接種期間:平成22年10月1日～平成23年3月31日 対象者:65歳未満の生活保護及び市町村民非課税世帯 65歳以上は、インフルエンザ予防接種事業で対応	5,384	健康推進課
インフルエンザ予防接種事業	接種期間の拡充による対象者の見込み増によるもの 接種期間:平成22年10月1日～平成23年3月31日 対象者:65歳以上 自己負担:1,200円(生活保護及び市町村民税非課税世帯は無料)	4,770	〃

IV.生活環境・都市基盤			
環境測定分析事業	大気環境監視システム保守費(石崎測定局移設経費)	6,909	環境安全課
地球温暖化、省エネ	住宅用太陽光発電システム設置に係る経費補助	2,145	〃
市単土地改良事業	排水ポンプ他(二穴、向田、鰻目、豊田地区)	5,051	農林水産課
土地改良施設維持管理	排水路、操作盤(塩津、若林、高田地区)	3,392	〃
県営街路事業負担金	和倉港和倉駅線整備事業(測量、用地、建物営業補償)	62,051	産業振興課
農林水産施設災害復旧	9月7日～8日発生の台風9号災害に伴う災害復旧 中島土川(農業用施設)中島上畠(農業用施設)林道別所線	12,200	農林水産課
河川等災害復旧事業	9月7日～8日発生の台風9号災害に伴う災害復旧 市道小牧谷内線(道路)、中島町横見(道路2、河川2件)	6,734	土 木 課

## 【議会質問】

※ 今議会の一般質問は、12月8～9日に行われました。私は9日に登壇し、議会質問いたしましたので、その概略を報告いたします。

### 七尾市における「エコツーリズム」の導入と取り組み



**質問**・近年、新たな観光のあり方として、自然資源を活用した観光商品の開発を目指す「エコツーリズム」の取り組みが全国に普及し始めている。導入について見解を伺う。

**市長答弁**・名所旧跡では無く、新しい観光資源を発掘し、事業化する事により誘客促進を図ってきたい。これからの観光事業として、大変大事な事業である。9月、能登島エコツーリズム研究会が立ち上り、県でも研究会が発足したところである。能登島全体をフィールドとして、自然体験や観光教育を取り入れたプログラムを作成し、市内外の子供達や色々な方々の誘客促進を図りながら、地域経済の活性化を目指す。収益が確保できる持続可能なメニューをどう作るかが課題。

ツアーガイドの育成も大変大事であり、誘客に繋げる情報の一元化や発信等を関係機関と連携しながら事業化に向けて検討する事になっている。市も積極的に参加し交流人口の拡大を目指す。

### いしかわISOに伴う「学校版」の推進と取り組み



**質問**・県内の地球温暖化対策など、環境保全活動のより一層の推進を図るため、「いしかわ環境ISO」の取り組みが進められている。市内の法人立保育園の4園が認定されているが、先般「学校版」で市内の全小中学校が認定された。環境教育の必要性やあり方、環境行動計画の取り組みや認定。活動を通じて子供達に学んでほしい事やこの事に期待する事について伺う。

**教育長答弁**・地球温暖化の様な環境問題は、人類の大きな課題の一つとなっている。将来を担う子供達は、環境問題に目を向け、環境に対する責任と役割を理解する必要がある。小学校では来年の4月から、新教育課程が完全実施され、環境教育が一層重要視される。「第2回・のとしん児童環境活動発表」があった。高階小学校では「菜の花米」の発表があり、有磯小学校の子供達は、1日も早くハヤブサやトキが地域の空を舞う様な環境を作っていきたくと話した。閉会式で代表児童は、これからの時代を生きる私達は、自分達の生活に気を配り、環境にやさしい活動続ける事を約束すると宣言した。子供達には、環境を守り育てる気持ちをずっと持ち続ける事を期待したい。

### ねんりんピック石川2010



**質問**・開催を終えた評価と、この事が与える七尾市の交流人口拡大等の影響や効果をどの様に読むのか。また期待する事とは。

**市長答弁**・おもてなしの心あふれる大会として、精一杯取り組んだ。それぞれのチームからお礼状も届いており、一人の方は「ねんりんピック出場は6回。今回の大会は、おもてなし良し、景色良し、食事良し、参加した大会の中で最高。」また、それぞれの皆さんが、こんなに素晴らしい応援や、おもてなしは初めと言う声もいただいた。経済効果は正確には分からないが、6千万円程である。リピーターの声も聞こえており、お世話いただいた関係者の皆さん方のお力で有り、改めてお礼申し上げます。

今回、私の議会質問は「武力攻撃等から市民を守る市の責務と七尾市国民保護計画」「平成23年度・七尾市当初予算編成方針」「FM(公共ファシリティ)の導入」「ふるさと回帰同窓会開催に伴う助成金交付」「観光地域づくりプラットフォームの導入」「七尾市におけるエコリズム支援事業の導入」「ねんりんピック石川2010」「いしかわ環境ISOに伴う学校版の推進と取り組み」以上8点18項目にわたり議会質問いたしましたのでご報告いたします。

## ＝平成22年・第3回七尾鹿島広域圏事務組合議会定例会＝

### ■病院フェスタ 2010in 能登病院に参加して。……(荒川 一 義) (平成22年10月31日開催)

東みなと保育園児によります、元気いっぱいのマーチングバンド演奏で、参加・来場する皆さんは歓迎を受けました。「地域に開かれた病院づくり」を目指している当病院においては、自治体病院として果たす役割を地域住民の皆さんに良く理解していただく事や、地域住民の声を聞く貴重な機会でもあります。

川口病院事業管理者そして藤岡病院長をはじめ、当病院関係者の皆さんも多く参加しており、「地域に開かれた病院づくり」を目指す姿勢が感じられ嬉しく思いました。

参加者からは「最近の能登病院は、対応が良くなったね」と言われ、私も思わず「ニコリ」。

まだまだ地域医療には様々な課題がありますが、この様な取り組みを通じながら、病院に対する新たな意識づけが生まれてくるのではないのでしょうか。

それは「地域の医療は地域の住民が守る。地域の病院は地域が守り育てる」と言う、地域住民の強い意識が生まれると言う事です。

さらなる「地域に開かれた病院づくり」の取り組みに期待します。



## 【議会質問】

※ 今議会の一般質問は、11月26日に行われました。その概略を報告いたします。



**質問**・【在宅医療の充実】医療圏における在宅医療充実に向けた当病院の役割と、地域医療支援センターの取り組みについて伺う。

**能登総合病院川口事業管理者答弁**・脳梗塞などの病気の場合、急性期を脱した後、回復期のリハビリを行い在宅に帰られ療養する道筋がたてられているが、在宅での療養に不安があったり、介護をする方の負担が大きかったりして、やむなく施設に入所するケースが多いと言われる。当病院では、在宅での療養を安心していただく為、訪問診察や訪問介護を行い、快適な在宅療養が出来る様に努めている。また、地域医療連携室と在宅支援部を統合して実のある医療が出来る様に、「地域医療支援センター(仮)」とし、地域の先生との連携は勿論の事、訪問看護ステーションや特養、老健施設等と密接な連携がとれる様に在宅医療充実に向け取り組んでいく。



**質問**・【消防団員の確保】団員が活動しやすい様に職場環境の構築に向け、出前セミナーが進められている。市町、消防本部、消防団の連携した取り組みが必要。その連携体制づくりと取り組み状況はどうか。

**山口消防長**・消防団の確保は全国的な課題であり、当消防団も例外ではない。この度、出前セミナーにより企業を訪問し、消防団活動に理解を深めていただく事により、団員を確保する取り組みについては承知している。今後消防本部としても、県、七尾市、中能登町、消防団と連携し、消防団活動がしやすい環境を整備する中で団員確保を図っていく。

今回、私の議会質問は、公立能登病院における諸問題として「新年度採用職員」「病院機能評価」「第2次経営改革」「地域医療支援病院」「在宅医療の充実」。消防本部における諸問題として「職員の酒気帯び問題」「新年度採用試験」「消防団員の確保と防災力の向上」以上、8点15項目について質問しましたので皆様にご報告致します。

※新年の『年賀状によるご挨拶』は、『公職選挙法』の規定に基づき、遠慮させていただきますのでご了承願います。

